

仙南地域における、宮城県各公所の取り組みを紹介します。

SENNAN the KING ザ 王

令和6年度第3号(通算第56号)

令和7年3月14日発行

大河原管内 合同広報誌
発行：宮城県大河原地方振興事務所

仙南地域のシンボルである蔵王は、地域にとって、言わば『王様』です。大河原地方振興事務所では、蔵王を仙南地域共有の大切な財産とし、地域の皆さまとともに、地域振興を進めていきます。

The・KING ~ 今号の注目記事 ~

一般財団法人蔵王酪農センター 富県みやぎグランプリ特別賞を受賞



写真：表彰式の様子

一般財団法人蔵王酪農センターは、昭和39年に蔵王町で110haに及ぶ広大な土地を活用した草地酪農を開始しました。昭和55年に国産ナチュラルチーズの実験工場を建設し、名称を現在の「蔵王酪農センター」に変更以降、各種研修の受け入れや国産チーズの普及・振興を通して、地域の酪農業の基盤強化を牽引してきました。

生産するナチュラルチーズはいずれも評価が高く、県内の食品企業にも数多く利用されているほか、世界で初めて開発商品化した麴菌を使ったチーズ「蔵」も味わい深く仕上がっています。

併設するレストランや直売所、学習体験牧場は仙南地域屈指の観光スポットとなっております。四季折々、皆様のお越しをお待ちしています。

【地方振興事務所 畜産振興部】



蔵王酪農センターで
生産されているチーズ等



麴菌を使ったチーズ「蔵」

落石予防対策における岩接着工法の施工

令和4年福島県沖地震により発生した落石箇所において、本県森林土木分野で初めて接着工法を採用し、施工したので内容についてご紹介します。

丸森町「下滝地区」は、阿武隈溪谷県立自然公園内にあり、自然環境に配慮した工法が求められる地域となっています。現地の状況は、亀裂の進んだ浮石と花崗岩のマサ土からの抜け落ちた転石が大小様々に混在しています。



丸森町「下滝地区」の現地状況



岩石着 DK ボンド工法の施工完了

今回採用した「岩接着DKボンド工法」についてご説明します。

DKボンドは無機質素材とポリマー樹脂からなる特殊配合モルタルです。モルタルを亀裂部に注入することにより剥離した箇所が基岩と一体化し、安定が図られる工法です。

自然災害から地域住民の暮らしを守るため、引き続き治山事業を進めてまいりますのでご協力をお願いします。

【地方振興事務所 林業振興部】

ひな祭りイベント各地で開催中！

大河原地方振興事務所では、仙南地域、山形県置賜地域、福島県東北地域のひな祭りイベントを一体的に紹介するリーフレット・ポスター「ひなの郷せんなん」を作成しました。

仙南地域では1月下旬から5月上旬にかけて、豪商の家に代々伝わるお雛様や歴史ある「享保びな」の展示など、特色あるひな祭りイベントが各地



村田町歴史みらい館で開催されている企画展「桃の節句 ひなまつり」



「ひなの郷せんなん」リーフレット

で開催されています。既に公開が終了した展示もありますが、5月上旬まで展示を行っている施設もありますので、ぜひウェブサイトやリーフレットを見て足をお運びください。

ひな祭り施設や観光地を巡るモデルコースも紹介しています。リーフレットは管内の観光案内所等で入手できますので、お出かけの参考にしてください。

【地方振興事務所 地方振興部】



詳細はこちらから

【3月14日まで】「仙南冬のスタンプラリー」開催

宮城県仙南地域では、「仙南冬のスタンプラリー」を3月14日まで開催しています。ひな祭りイベント開催施設や日帰り温泉施設、スキー場、蔵王ジオパークセンターを巡ってスタンプを2個集め、賞品引換施設で500円以上お買い物した方に、「仙台弁こけし」オリジナルグッズをプレゼントするスタンプラリーです。



スタンプラリースポットの1つ
「みやぎ蔵王白石スキー場」



仙南冬のスタンプラリー

第2弾となる2月22日から3月14日の間は、「仙台弁こけし」温泉デザインオリジナルエコバッグを先着で計270名の方にプレゼントしています。ぜひご参加ください。
(賞品がなくなっている施設もありますので、賞品引換の際は、宮城県ウエブサイトをご確認ください。)

【地方振興事務所 地方振興部】



詳細はこちらから

みやぎ仙南のアクティビティ情報

「SENNAN ADVENTURE MAP」

大河原地方振興事務所では、仙南地域のアクティビティスポットを紹介する「SENNAN ADVENTURE MAP」(仙南アドベンチャーマップ)を作成しました。

仙南地域のキャンプ場やスキー場など、四季折々の自然を楽しめる魅力的なアクティビティスポット68箇所を紹介しています。休日や週末に家族や友達とお出かけする際、いつもと違う体験をしてみませんか？



イチオシスポットの1つ
「南蔵王やまびこの森キャンプ場」(七ヶ宿町)
(2025年は4月からオープン)



SENNAN ADVENTURE MAP

「子どもたちと思う存分、広い屋外で遊びたい!」「友人とキャンプやBBQを楽しみたい!」「今年の冬は、スノボとスキー!」など、この一冊があればご希望を叶えるスポットがきっと見つかります。
MAPは当所ウェブサイトにも掲載しておりますので、週末のお出かけのご参考にしてください。

【地方振興事務所 地方振興部】



詳細はこちらから

まちづくり・
地域振興

令和6年度仙南青年文化祭「おおがわらで

Let's Try〜ついでにやわってやってみて〜」

仙南地域の青年が一堂に会し地域との交流活動を行ってきた「仙南青年文化祭」。今年度は、大河原町の中央公民館で開催しました。

今年度は「体験」をメインとしたブースやステージ等での参加型のイベントを行いました。開催地大河原ならではの「にゃんこけし絵付け体験」や「梅の種とぼし」など様々な催しを展開。他の市町も地域の特色を生かした体験ブースを企画し、ご



体験ブースの様子



集合写真

来場の皆様にもきつと満足いただけましたものと思います。また、警察・消防の車両体験・制服体験ブースも設置するなど、大河原警察署や大河原警察署の皆様にもご協力いただき、文字通り「仙南地域の若者文化の祭典」となりました。

【大河原教育事務所】

商工業・
雇用

「令和6年度進路説明会」開催

普通課程（学卒者訓練）の理解を深めていただくために、高校1・2年生とその保護者、若年求職者の方を対象に進路説明会を1月18日に開催しました。

本校普通課程2科のうち、情報通信ネットワーク科は、情報通信分野における有線・無線に対応した技術操作やメンテナンスに必要な知識・技能を持った人材を育成し、修了生



全体説明の様子



施設見学の様子

は情報通信関連会社などで活躍しています。

また、プログラミングエンジニア科は、プログラミング言語で実務的なプログラミングができる人材を育成し、修了生はソフトウェア関連会社などで活躍しています。

学校見学を随時受け付けておりますので、本校に興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

【白石高等技術専門学校】

仙南地域の農業者の方々が表彰！



農林水産大臣賞（エコファーム蔵王株式会社）の「ひとめぼれ」

令和6年11月に審査が行われた農林産物品評会のうち玄米部門において、エコファーム蔵王株式会社の「ひとめぼれ」が農林水産大臣賞、農事組合法人北向結ファームの「ひとめぼれ」がみやぎ農業振興公社理事長賞、花き品評会では、柴田町の山家淳子さんのポットマム、丸森町のはるはなファーム株式会社（代表取締役 鈴木学）のビオラが銀賞を受賞しました。また、令和7年1月に夢メッセみやぎ（仙台市）におい



みやぎ農業振興公社理事長賞（農事組合法人北向結ファーム）の「ひとめぼれ」



宮城県農業・農村女性活躍表彰（女性地域社会参画部門・個人）最優秀賞の角田真由美氏（大河原町）

て2025農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会が開催され、宮城県農業・農村女性活躍表彰（女性地域社会参画部門・個人）において、大河原町の角田真由美さんが最優秀賞を受賞しました。今年度も仙南地域の農産物や農業者が高い評価を受けました。

【地方振興事務所 農業振興部】

みやぎ農業未来塾

「おおがわら地域次世代農業研修会」開催！

令和7年1月21日に大河原農業改良普及センターにおいて、仙南農業士会、仙南4日クラブが共催し、みやぎ農業未来塾「大河原地域次世代農業研修会」を開催しました。本研修会は、農業士（県が認定する地域農業の振興や農村青少年等の育成に貢献している農業者）、4日クラブ（農業青年クラブ）員及び管内新規就農者のスキルアップと農業者間の交流促進を目的に行われ、14人の農業者が参加しました。



みやぎ農業未来塾の様子

社会保険労務士より従業員に対する安全衛生教育の重要性や、農業資材メーカーの担当者から衛星画像を用いた栽培管理支援システムについて紹介いただきました。研修会後には交流会が行われ、仙南地域の次世代の農業を担う農業者が交流を深めました。

【地方振興事務所 農業振興部】



社会保険労務士の講義

丸森町大張地区「第5回沢尻棚田写真コンテスト」開催

丸森町大張地区にあり、日本の棚田百選にも選ばれている「大張沢尻棚田」の四季にスポットを当てた写真コンテストが、今年も開催されました。5回目となる本コンテストには、町内外18名から計37点の応募があり、審査の結果、第一席となる「特選」のほか13作品が選出されました。



特選「棚田に降り立った星々」



表彰式にて保科丸森町長による祝辞



大河原合同庁舎での展示の様子

令和6年12月17日に丸森町観光交流センターで行われた表彰式では、地元農家代表から各入賞者に対し、表彰状と副賞の棚田米が贈呈されました。全作品は12月27日まで同所にて展示された後、令和7年1月15日から31日には、県大河原地方振興事務所が主催し、大河原合同庁舎1階ロビーでも入賞作品の展示を行いました。今後は4月頃に、阿武隈急行線車内及び丸森駅での展示も予定されています。

【地方振興事務所 農業農村整備部】

観光・イベントに関するお知らせ



みやぎ仙南の郷土料理である「おくずかけ」のレシピや仙南地域でおくずかけを提供している店舗を紹介します。



みやぎ蔵王山麓に所在する白石市小原温泉・鎌先温泉・白石湯沢温泉、蔵王町遠刈田温泉及び川崎町青根温泉・義々温泉の各温泉地が連携し、「みやぎ蔵王温泉郷」として一体的な情報発信や誘客の取組を行っています。



「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から選定しました。



せんなんスイーツ
PRキャラクター
「せんにゃん」

仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」やカフェ 60 店舗を御紹介しています。

猫の神様「せんにゃん」と一緒に、スイーツ巡りをしてみてはいかがでしょうか。



X



Instagram

大河原地方振興事務所公式 X・Instagram「いいっちゃね、みやぎ仙南！ #んだから～」では、宮城県南地域のいいとこ情報を積極的に発信しています。

満喫！蔵王の冬

蔵王自然の家では、親子の絆を深めるとともに、蔵王の自然と四季の移り変わりを感じることでできる親子対象の事業を、「満喫！蔵王」シリーズとして季節ごとに実施しています。春は新緑の野鳥の森トレッキング、夏は清流の沢登り、秋は紅葉を堪能する登山。そして冬は、テーマを「家族で蔵王の冬を遊びつくす2日間」として、スノーシュートレッキングをメインに、2月1日と2日の1泊2日の日程で、34家族97名の参加で開催しました。



スノーシュートレッキングの様子



ざおうさまと記念写真

1日目は、宮城県ボブスレー・リージュ・スケルトン連盟のレクチャーのもと、そり遊びと雪像づくり、夜にはスノーキャンドルを行い、2日目はスノーシュー、歩くスキーのグループに分かれ、野鳥の森のトレッキングを行いました。豊かな自然に抱かれ、蔵王の冬を存分に満喫し、親子で楽しむことのできた2日間となりました。

【蔵王自然の家】

みやぎ県民大学「学校等開放講座」

白銀の蔵王 冬の森体験

午前は、蔵王自然の家登山支援ボランティアの佐藤芳樹氏より、「冬山登山について」という題で講義を行いました。今までの登頂した国内、海外の山の経験や、冬山登山の魅力、危険性、ビバークするときの方法について話していただき、参加者も興味深く聞いている様子でした。また、こだわりの持ち物についても、実物を紹介しながら説明がありました。



スノーシュートレッキングの出発前



冬山登山に関する講義

その後、えぼしスキー場近くで、スノーシュートレッキングを行いました。オオルリコースを通り、五本ナラのあるところで、ビバークしたときの雪洞づくりを行いました。今年度は、雪も多く、白銀の蔵王を楽しみました。

【蔵王自然の家】

TOPICS

「租税教室」開催中

子育て・
教育

写真：小学校で実施した租税教室の様子

仙南地域の税務関係機関と教育関係機関で構成する大河原地区租税教育推進協議会では、次代を担う児童や生徒に税の意義や役割を正しく理解していただくため、地域の小・中学校及び高校に講師を派遣して「租税教室」を開催しています。

今年度は地域の44校で開催し、大河原県税事務所からも小学校4校と中学校1校に職員が出向いて、「私たちの暮らしと税」と題し、税金のしくみや使い道について授業を行いました。児童・生徒の皆さんからは、「税金が身近で使われていることを知った」「正しく使われるために選挙で投票したい」などの感想をいただきました。

この「租税教室」は、来年度以降も引き続き開催する予定です。

【大河原県税事務所】

次号は7月中旬の発行予定です

【編集後記】

今号では、「ひなの郷せんなん」や「仙南冬のスタンプラリー」についてご紹介しました。仙南各地では、ひな祭りイベントが随時開催されています。当所SNSでもモデルコースや各イベントの魅力を紹介しておりますので、ぜひ、週末のおでかけのご参考になしてください。

ひなの郷
せんなん



読者の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。
下記までお気軽にお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部

〒989-1243 柴田郡大河原町字南 129-1

TEL：0224-53-3182（直通）

FAX：0224-53-3076

E-mail：oksink2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/>

